

地域の医療と健康をサポートする広報誌

ホスピタル広報 伊賀

発行者／伊賀市立上野総合市民病院

三重県伊賀市四十九町831番地 TEL. 0595-24-1111(代表) FAX. 24-2268

<http://www.cgh-iga.jp/>

上野総合市民病院

検索



2015.7.1

3号

[年4回発行]

ご自由にお持ち帰りください



撮影：山中 美子

CONTENTS

〈新任医師紹介〉



内科部長(療養病棟担当)
松浦省三 医師



整形外科
池村重人 医師

巻頭言

P2

副院長(事務部門) 福永 泰治
病院機能再開発センター長・健診センター長 足立 幸彦

一般内科、整形外科医師 赴任のお知らせ

P3

緩和ケアとは

P4

外科部長・緩和ケアセンター長 寺邊 政宏

おすすめレシピ No.3

P5

熱中症 Q&A

オープンホスピタル

外来診療表

P6

巻頭言

当院の現状と将来展望等について

上野総合市民病院は本年4月から本館5階病棟を「地域集学的治療センター」として、また西館3階病棟を「療養病棟」としてオープンする運びとなりました。

本年度には三重県の地域医療構想（ビジョン）が策定されることから、これを踏まえ市民病院としてこれからの伊賀地域が迎えることになる少子高齢化に対応できる医療の提供が必要となってまいります。

これらのことから、地域の医療ニーズを把握し、当院の特徴を生かした医療を提供することが、これからの市民病院に求められていると考えています。

その対策の一環として、内科疾患、消化器系疾患、悪性腫瘍、骨・関節・筋肉等運動器の疾患等、高齢者医療の充実にも努めてまいります。

今後においては、現在休止している本館4階病棟稼働のため、常勤医師の確保については引き続き各大学等への支援をお願いし、更なる医療体制の充実を図ることが次の課題となっています。

伊賀市における医療の充実、市民の方々が安心して治療を受けていただける医療の提供を行なうため、医師及び看護師等職員の確保に努めると共に、医療環境の整備を図るため、今後も院長始め職員一丸となって取り組んでまいります。



副院長(事務部門) 福永 泰治

市民病院は消化器・肝臓内科医師の着任、看護師の増員等を得て、現在5病棟中4病棟（急性期病棟3、療養病棟1）を稼働させるまでに回復して参りました。7:1の手厚い看護体制を維持し、入院期間の短縮化（平均在院期間15日）も順調に推移しております。地域の診療所・病院からの紹介率、逆紹介率は現在60%台を推移しており、地域医療支援病院の要件を満たすまであと一歩です。

急性期病棟では、新設の5階病棟は「地域集学的治療センター」としてがんの患者さん等に対して診療科をまたがっての診療にあたっており、6階および3階病棟はそれぞれ外科系、内科系の病棟としてアクティブに稼働しております。内科領域では、消化器・肝臓内科領域のほぼすべての疾患をカバーできるようになり、内視鏡下の各種治療件数も非常に増加しております。循環器内科は滋賀医科大学からの全面的な応援体制が築かれており、外科的処置の必要な症例については大学の循環器外科への紹介もスムーズに行われております。外科（消化器外科）の特徴としては、大腸がんなどの症例に対して伊賀地区では腹腔鏡手術件数が最も多く、またヘルニア、痔への対応にも優れております。整形外科領域では特に脊椎疾患の診療に定評があります。3階西病棟は療養病棟としてこの4月に再開しました。訪問看護ステーションも稼働しております。

今後は改修の終わっている4階病棟を早急に再開して、伊賀地域の急性期医療から慢性期、在宅医療までのシームレスな流れを実現して行きたいと考えております。もちろん当院単独ではできる話ではありませんので、地域の医療機関、老健施設等および各ご家庭との緊密な連携・協力体制を築いて行く所存です。紹介・逆紹介を通じて病診連携を推進いたします。今後とも、皆様のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。



一般内科(老年科)、整形外科医師 赴任のお知らせ 院長 三木 誓雄

4月14日、5月1日より当院に新たな2名の医師が常勤スタッフとして加わりました。

療養病棟担当の松浦省三医師は豊富な臨床経験をもとに、4月より再開された療養病棟の運営に多田医師とともに携わって頂いております。当院の療養病棟は、急性期病棟で初期医療が終了した患者さんが自宅あるいは施設へ退院するための、回復期医療を主に提供しておりますが、お二人の豊富な臨床経験で伊賀地域の老年医療を支えていただきたいと希望しております。

整形外科担当の池村重人医師は新進気鋭の整形外科医師で、佐藤昌良整形外科部長とともに三重大学医学部整形外科外科学教室に所属されています。当院の整形外科は、伊賀地域の救急医療を支えるのみならず、変形性関節症、脊椎疾患など高齢者の生活の質を損なう疾患を治療する重要な診療科であるといえます。地域に根ざした先進医療を提供していただけると大きく期待しております。

3階西病棟が療養病棟としてこの4月より再開されました。

再開当初から多田先生が、私は4月中旬より担当させて頂いております。

日常生活動作機能（ADL）が低下している高齢者が肺炎、脳梗塞などの疾患で急性期病棟に入院されると、原疾患が治療により軽快しても、ADLの低下がさらに進行することがあります。その状態では自宅や施設の受け入れも困難となり、そういった患者さんの多くは自立への道を閉ざされることとなります。

そのような患者さんに対し療養病棟では家や施設に戻れない原因を探求し、これまで患われてこられた病気の影響や急性期疾患入院治療前と治療終了時点との生活能力差を見定めて患者さんの残存能力を推定し、一旦低下した身体状況をどこまで回復して戴けるか目標を定めます。

療養病棟では従って、患者さんのもう一度前の状態へ戻ろうという気力がわき起こるよう、温かい家庭的雰囲気の中、リハビリ・栄養・褥瘡などの専門スタッフと協力して病棟職員全てが患者様それぞれの「社会復帰」に向け体力・気力・生活のリズムを取り戻して戴けるよう療養に当たらせて戴いております。

この様な療養病棟は高齢患者さんが急性疾患入院治療後の「社会復帰」を果たすため、伊賀市になくてはならない医療機能を持った病棟であり、私たち病棟職員はその職務を果たせるよう研鑽・努力していきたいと考えております。

内科部長（療養病棟担当） 松浦 省三



本年5月1日から着任いたしました整形外科医師の池村重人と申します。皆様どうぞよろしく願います。

平成13年に三重大学医学部を卒業後、整形外科に入局し、以後大学病院研修医を含め県内のいくつかの病院でそれぞれ2-3年の期間勤めさせていただきました。

三重県生まれ、三重県育ちの生粋の三重県人である私ですが、伊賀地区への赴任は初めてでして、通勤、勤務と毎日が非常に新鮮であります。

他の病院と同じく、骨折を始めとして外傷の患者さんは当院にたくさん来院されます。中でも骨粗鬆症性骨折として代表的な大腿骨近位部骨折や橈骨遠位端骨折の患者さんが多く、手術適応のある骨折については積極的に手術的治療をさせて頂いております。また、変形性股関節症や変形性膝関節症の患者さんも多く、痛みを取り生活の質を改善するため人工関節置換術も積極的に行っております。

まだまだ若輩者の私ではありますが、これまでに経験し得てきた知識、技術を生かし、当地域の患者さんの診療に役立て、患者さんが安心して診療を受けられるよう、また当科、当院を信頼していただけるよう精いっぱい努力して参ります。

当地域の患者さん、医療従事者の皆様のお役に少しでも立てるよう頑張りますので、いろいろとご迷惑をおかけいたしますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどなにとぞよろしくお願い申し上げます。

整形外科医師 池村 重人



緩和ケアに対する誤解

緩和ケアと聞くと皆さんはどのようなものを想像されますか。まだまだ多くの人にとってはがんの末期に受けるものという誤解があるようです。緩和ケアは「重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケア」と定義されています。重い病とは主にがんですが、末期とはいわれていません。つまり、がんと診断されたときから緩和ケアは始まります。このことは医療従事者の間にも十分に浸透していません。がんをわずらっている方が主治医に緩和ケアを受けたいと言ったら「まだ早い」と言われたなどという話を聞きます。



Orange Balloon Project

緩和ケア普及啓発事業
(オレンジバルーンプロジェクト)
に参加しています

緩和ケアで行うこと

緩和ケアで行うことを知っていただければ誤解はなくなると思います。

- ・ がんと宣告されたときの落ち込んだ気分を緩和し治療への意欲を持っていただくこと
- ・ 治療中の副作用によるつらい症状を緩和し、必要な治療が副作用のために中断されないようにすること
- ・ がんの進展による痛み、吐き気、呼吸困難などを緩和し普段の生活をしやすいようにすること
- ・ 経済的なことの相談
- ・ 在宅療養の支援

これらすべてが緩和ケアです。しかし、これがすべてではありません。

緩和ケアを受けるために

緩和ケアでは病気そのものを治療することはしませんが、つらい症状があれば治療と並行して受けるべきものです。患者さんが和らげてほしいと感じるつらい症状は血液検査やレントゲンでわかるものではありません。さらにはその症状にどれほど苦しんでいるかも他人にはわかりません。ですから主治医や看護師に「緩和ケアを受けたい」と伝えることが第一歩です。緩和ケアは伝えなければ始まりません。

苦痛が緩和されれば、おだやかな時間を取り戻せます。

遠慮せず、勇気をもって、伝えてください、

『緩和ケアを受けたい』と。

当院では医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカー、理学療法士などが必要に応じて緩和ケアに当たらせていただきます。緩和ケアに関するご相談は地域医療連携室で承っています。気軽にお声がけください。

栄養管理課だより No.3
おすすめレシピ

シーフードピラフ

今回は「食欲不振・夏バテ予防メニュー」です。食欲がないからと素麺のみといった単品だけでは栄養素が偏り、さらに食分量が減ると必要な塩分量もとれず、熱中症を招きます。予防には、単品メニューでも蛋白質やミネラル、ビタミンを補給できる食品を取り入れることが大切です。蛋白質・ミネラルに富むシーフードミックスを利用し、炊飯器により暑い調理時間を短縮したレシピを紹介しつづけます。また、レモンの香りにより食欲増進の効果も期待できます。



材料(1人分)

- 精白米・・・80g (1/2カップ)
- シーフードミックス・80g (1~2カップ)
- 玉ねぎ・・・40g (1/5個)
- にんじん・・・20g (1/8本)
- パプリカ・・・20g (1/6個)
- バター・・・4g (小さじ1)
- 顆粒コンソメ・・・1.5g (小さじ1/2)
- こしょう・・・少々
- 水・・・95g (1/2カップ弱)
- レモン・・・15g (1/8個)

作り方

1. 米は洗って、ざるにあげておく。
 2. 玉ねぎとにんじんはみじん切りにする。パプリカはさいの目切りにし、さっと湯がく。
 3. フライパンにバターを溶かし、玉ねぎ、にんじん、シーフード、調味料を入れて炒める。
 4. 釜に1を入れ、水と3をすべて入れ、炊飯器で炊く(炒め汁がある場合は水の量を減らす)。
 5. 炊き上がればパプリカを混ぜ合わせ、くし型に切ったレモンを添える。
- (一人分:エネルギー428 kcal、たんぱく質 21 g、脂質 5.1 g、塩分 1.4 g)
栄養指導ご希望の方は、お気軽にご相談ください。

第14回市民公開講座
オープンホスピタル

病院ではたらこう!

将来、病院などで働きたいと考えている皆さん。医療の現場を体験してみませんか。

医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、管理栄養士、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、言語聴覚士、社会福祉士などが仕事の内容についてシミュレーター(体験用の器材)などを使用して説明し、疑似体験ができます。

とき 8月1日(土)

各部門プレゼンテーション(講義): 12:15~

各ブースの業務体験・展示(院内見学): 13:30~15:00

ところ 上野総合市民病院 西館1階会議室ほか

経営企画課 TEL 24-1111



熱中症 Q&A

看護部 救急外来 主任 藤森 絵理子

Q.熱中症にはどのような症状がありますか?

- A. 熱中症はⅠ~Ⅲの重症度に分類され、以下のような症状があります。
- 【Ⅰ度】熱失神: めまい、立ちくらみ、生あくび、一時的な失神、顔面蒼白
熱けいれん: 筋肉痛、手足がつる、筋肉がけいれんする
 - 【Ⅱ度】熱疲労: 全身倦怠感、悪心・嘔吐、頭痛、集中力や判断力の低下
 - 【Ⅲ度】熱射病: 体温が高い、意識障害、呼びかけや刺激への反応がない、言動が不自然、ふらつく

Q.熱中症の対処方法は?

- A. 基本的には現場での『冷所での安静、体表の冷却、水分の補給』です。
- 冷所での安静...風通しの良い日陰やクーラーの効いた屋内で横向きに寝かせます。
- 体表の冷却...衣服は熱の放散を妨げるので、可能な限り脱衣します。
霧吹きなどで体表を水で濡らし、うちわや扇風機で風をあてましょう。
- 水分の補給...5~15℃に冷えたスポーツ飲料や経口補水液を飲みましょう。
運動時は20分おきに休憩し、水分を1回100mL飲みましょう。
麦茶は塩分のある飴と一緒に摂ると良いでしょう。しかし、カフェインが含まれる緑茶やコーヒー、ビールなどのアルコールには利尿作用があります。飲んだ以上の水分を排泄しますので避けましょう。

- Ⅰ度: 応急処置で症状が徐々に改善するようであれば、医療機関を受診は必要ありません。
- Ⅱ度: 医療機関を受診しましょう。点滴で十分な水分とナトリウムの補給が必要です。
- Ⅲ度: 医療機関で治療を受けましょう。場合によっては入院が必要です。

Q.熱中症予防で注意したい生活のポイント?

- A. 日差しの強い時間帯の外出は避けましょう。室内は、カーテンなどで日光が遮られていても熱気がこもり、高温・多湿となり熱中症になりやすい環境です。窓を開けて外の風を取り入れ、熱気を逃すようにしましょう。エアコンや扇風機を利用して室温を28℃にすると良いでしょう。特に高齢者はエアコンの使用を避ける傾向にありますので注意が必要です。

参考文献 「熱中症ガイドライン 2015」日本救急医学会

伊賀市立上野総合市民病院 外来診療表 (平成27年7月1日～)

[受付時間] 午前8時30分～11時30分まで ※受付時間の異なる診療科があります()内をご参照ください。

※脳神経外科、神経内科、心臓血管外来(完全予約制)医師は医療機関からの紹介状が必要です。

※臨時に休診になる場合、診療表が変更になる場合がありますので事前にご確認ください。電話 **0595-24-1111(代)**

診療科		曜日	月	火	水	木	金
内科	総合診療外来		三木 誓雄	三木 誓雄 (8:30～16:30) 多田 博胤 (13:00～16:30)	田中 基幹	三木 誓雄 (環たきり予防外来)	三木 誓雄 (8:30～16:30) 田中 基幹
	一般内科外来			浜島 信之		菱田 朝陽 (13:00～15:00)	
	消化器・肝臓内科		足立 幸彦		谷村 雄志・松本 泰司 津久田 諭 の交代	足立 幸彦 (13:00～15:30 第4のみ～14:30)	
			八尾 隆治	光山 俊行	斉藤 康晴	斉藤 康晴	光山 俊行
	炎症性腸疾患外来 (第2月曜日)	安藤 朗					
	ピロリ除菌外来(予約制) 予防接種外来(予約制)					菱田 朝陽 (15:00～16:00)	
	腫瘍内科		田中 基幹		田中 基幹		田中 基幹 井上 靖浩 田中 光司 (13:00～15:00)
		循環器内科	宮田 和明 (9:15～11:30)	八木 典章 (9:00～11:30)	宮田 和明 (9:15～11:30)	松本 祐一 (9:00～11:30)	山本 孝 (9:30～11:30)
	不整脈専門外来 (最終月曜日)	堀江 稔 (13:30～15:30)					
	ペースメーカー外来 (予約制)(第3木曜日)					宮田 和明 (13:00～15:00)	
心臓血管外来				坂倉 玲欧 (10:00～12:00)	新保 秀人 (15:00～16:30) 7/9,23 8/6,27 (完全予約制)		
腎臓内科/呼吸器内科			清水 浩一(腎臓) (13:00～15:30)		五十嵐知之 (呼吸器)		
神経内科(予約制)				朝日 理			
もの忘れ外来 (予約制)					多田 博胤 (13:00～15:30)	赤津 裕康 (14:00～16:00) 7/10 7/24	
ペインクリニック内科 (第1,3,5火曜日)			横地 歩 (15:00～16:30)				
小児外科(第4火曜日)			内田 恵一 (13:00～16:00)				
外科	外科	初診	浦田 久志		濱口 哲也		寺邊 政宏
		再診	寺邊 政宏 濱口 哲也		森本 雄貴	千賀 雅之	浦田 久志 西川 隆太郎
	肝胆脾疾患外来	櫻井 洋至 (9:30～11:30)					
	大腸肛門病センター	森本 雄貴	三木 誓雄			三木 誓雄	
	緩和ケア外来(完全予約制)		寺邊 政宏 (15:00～17:00)				
ヘルニア外来(鼠径)				濱口 哲也 (13:00～15:00)			
脳神経外科(予約制)			中塚 慶徳 (10:30～12:30)				
整形外科	I 診	佐藤 昌良	佐藤 昌良	松原 孝夫 (13:00～15:00) 受付時間 14:30 まで		池村 重人	
	II 診	池村 重人	池村 重人				
	III 診		松原 孝夫				
泌尿器科		田中 基幹		神田 英輝		田中 基幹	
婦人科 (第2・4水曜日のみ2診)	I 診	和田 俊一	和田 俊一	和田 俊一	和田 俊一	和田 俊一	
	II 診			田畑 務 (9:30～11:30)			
耳鼻咽喉科		竹内 万彦					
皮膚科					横山 智哉 (9:00～11:00)		
眼科			布目 貴康 (9:30～11:00)				